|  |  |
| --- | --- |
| 分野 | 総合分野（学校設定科目等） |
| 教材  タイトル | 株式と経済の関連性について理解しよう |
| 教材からの学び | １　株式に関する基礎的知識を身に付けている。  ２　株価と経済との関連性、日本企業と世界とのつながりについて理解している。  ３　日経平均株価の推移を取ることにより、株価上昇や下落の変動要因を発見し、それを他社に説明することができる。  ４　学習全体を通じて株式を学習する意義を発見し、今後に生かそうとしている。 |
| 時間数 | ２時間（プレゼン資料を用いた株式の基礎知識の講義と意見共有） |
| 授業の  進め方 | ＜プレゼン資料を用いた講義　１時間＞  １　別添ファイルのプレゼン資料の台詞を参考にしながら講義を行う。生徒はワークシートに記入しながら、株式の基礎について学習する。  ２　「日経平均株価の推移記録を取ろう」の課題プリントを配付し、期日までに日経平均株価の記録と変動理由について記載するよう指示をする。  ３　日経平均株価についてはyahooファイナンスや新聞の株価欄を見るとよい。株価の見方について指導を行う  ＜課題に関するグループ学習及び意見共有　１時間＞  １　【グループワーク用】「日経平均株価の推移記録を取ろう」プリントを用いて、日経平均株価の上昇要因、下落要因、上昇・下落要因としての重要事項、株式を学ぶ意義についてグループで意見共有をした後、全体意見共有をする。  ２　振り返り・気づきの共有  最後に生徒に今回の気づきについて書かせる。そして、その気づきをグループで共有したり、チームズのチャット機能などを用いたりして共有する。 |

※③－３の別添資料にて株式に関する先生方の勉強用及び生徒用の教材一覧を作成しているので、適宜活用してください。

グループワーク「株式と経済の関連性について理解しよう」　授業計画

■本単元の位置付け

ビジネス探究プログラム　基礎学習

■本単元の目標

１時間目（プレゼン資料を用いた講義）

　・株式の基礎知識を身に付ける。

　・株価の変動要因と世界経済や日本経済の関係性を理解する。

　・為替と株価の関係性について理解する。

　・日々の株価と変動要因を記録する方法を身に付ける。

　２時間目（「日経平均株価の推移記録を取ろう」プリントを用いた意見共有）

　・日経平均株価の推移記録により、株価が変動する要因を理解する。

　・商業高校生が株式を学ぶ意味を理解する。

　・株式の知識を今後の学びに生かそうとする態度を身に付ける。

■評価の規準

【Ａ】知識・技術

・株式に関する基礎的知識を身に付けている。

・株価と経済との関連性、日本企業と世界とのつながりについて理解している。

【Ｂ】思考力・判断力・表現力

・日経平均株価の推移を取ることにより、株価上昇や下落の変動要因を発見し、それを他者に説明することができる。

・学習全体を通じて株式を学習する意義を発見し、今後に生かそうとしている。

【Ｃ】主体的に学習に取り組む態度

・課題の取組状況。

・積極的な発言。グループや全体での意見共有時に、更によいアイデアを出そうと努力をする粘り強い態度。

・振り返りにより、今回の学習を今後に生かしていこうとする態度。

■留意事項

・評価は課題「日経平均株価推移の記録を取ろう」と振り返り及び、グループ内や全体意見共有での活躍などで評価する。

・意見共有では発言しやすいような雰囲気を教員がつくるとともに、否定はしない。

・意見共有ではTeamsのチャット機能やロイロノートなどを利用してもよい。

・③－３（別添資料）にて株式に関する先生方の勉強用及び生徒用の教材一覧を作成しているので、適宜活用する。

株式学習プリント（穴埋め）

　　講義を受け、株式に関する理解を深めましょう。このプリントの（　　）を埋めながら学習してください。

１　株式に関する学習①　～株式を学ぶ意義と日経平均株価～

・株価の動きを知ることは、企業の業績や世界経済、社会情勢を理解するための重要な手段である。例えば、ある企業の株価が急上昇した場合、その企業の新製品の発表や、業績が好調であることが考えられる。また、株価が全体的に下落している場合、経済不況や政治的不安定が影響している可能性がある。さらに、特定の業界の株価動向を追うことで、その業界全体の健康状態や将来の見通しを把握することができる。例えば、テクノロジー企業の株価が上昇している場合、技術革新が進んでいることや消費者需要が高まっていることが示唆される。

このように、株価の動きを分析することで、企業や経済全体の動向をより深く理解することができる。

　・日経平均株価とは、（　　　　　　）のうち東京証券取引所（　　　　　　）市場に上場している企業のうちの代表的な（　　　　）社の平均の株価である。（　　　　　　　　　）とも呼ばれる。

　・株式会社は株式を発行しその株式と引き換えに（　　　　　）から資金を調達する。その株式を（　　　　　　　　）を通じて自由に売買ができるようになることを（　　　　）という。上場するためには厳しい審査があり、その審査を通過した企業のことを（　　　　　　　　）という。

　・令和６年９月現在、日本の株式会社は約（　　　　）万社あるが、そのわずか０．２％に当たる約４，０００社（厳密にいえば令和６年９月時点で3,953社）が上場企業となっている。上場企業は厳しい（　　　　）を超えた優良企業と言える。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 証券取引所 | 市場名 | 企業数 | 備考 |
| 東京証券取引所 | （　　　　　　　　　　　　　） | １６４１社 | うち（　　　　　）社が日経平均組み入れ銘柄 |
| 東京証券取引所 | （　　　　　　　　　　　　　） | １602社 |  |
| 東京証券取引所 | （　　　　　　　　　　　　　） | 591社 | （　　　　　　　 　）向け市場 |

　　※日本の代表的な証券取引所である東京証券取引所の各市場名。企業数は令和６年９月１１日現在の企業数。

　・２０２２年４月以降は東証１部などの名称が変更となった（以下参照）。

各企業の上場については見直しが行われるので、今まで東証１部に上場していたからといってプライム市場に入れるとは限らない。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 証券取引所 | 2022,３月までの市場名 | ２０２２年４月より | 特　徴 |
| 東京証券取引所 | 第１部 | （　　　　　　　　　）市場 | 多くの機関投資家の投資対象になりうる規模の時価総額の企業。 |
| 東京証券取引所 | 第２部 | （　　　　　　　　　）市場 | 公開された市場における投資対象として一定の時価総額をもつ企業。 |
| 東京証券取引所 | JASDAQ | （　　　　　　　　　）市場 | 高い成長可能性を実現するための事業計画等の適切な開示が行われ、一定の市場評価が得られる企業。 |
| 東京証券取引所 | マザーズ |

　・令和６年９月１２日現在の日経平均株価36,833円27銭。

令和　　年　　　月　　　日現在の日経平均株価(　　　　　　　　　円　　　銭)←調べてみよう！！

　・株式会社は株式を発行して資金を調達する。株式を持っている人を(　　　　)と呼ぶ。そして、株式会社の最高意思決定機関は（　　　　　　　　　　）である。（　　　　　　　　　　　）では、会社の重要な方針や役員の選任などが決定される。

　・株式の売買は、平日の（　　　時）～（　　　時　　　）、休憩をはさんで、（　　　　時　　　）～（　　　時　　　）の時間帯で売買できる。午前の取引時間を（　　　　　　（　　　　　　））、午後の取引時間を（　　　　　（　　　　　　））という。

２　株式に関する学習②　～日経平均株価の変動要因と見方～

　・日経平均株価は日本の最も代表的な（　　　　　　　）のひとつで、上昇が続けば景気が（　　　　）なってきたと考えられ、逆に下落が続けば景気が（　　　　　）なってきたと考えられる。しかし、最近はそうとも言えなくなってきている。

（資料）社会実情データ図録（<https://honkawa2.sakura.ne.jp/5075.html>）より掲載

グラフ

中程度の精度で自動的に生成された説明

・株価の変動要因①　世界経済との関わり

株価の変動要因にはさまざまな要因がある。記憶に新しい新型コロナウィルスなどの感染症、戦争、為替、リーマン・ショックを代表とする金融崩壊、諸外国の景気、大統領選挙、金利、雇用、インフレ・デフレ、日々のニューヨークダウ、ナスダック指数の変動など多くの要因が日本の株価にも影響する。その中でも（為替）は日本企業の業績や株価に大きく影響する。（　　　　　）とは、異なる通貨間の交換レートであり、（　　　　　）や（　　　　　）によって日本円の価値が他の通貨に対して変動することである。

・株価の変動要因②　日本国内での動向

１つ目の株価の変動要因として、まずは（　　　　　　　　）が挙げられる。（　　　　）企業が多く、企業が利益を多く上げていけば個別の企業の株価も（　　　）がり、日経平均株価も（　　　　　）する。（　　　　　）企業が多くなれば当然、日経平均も（　　　　　）する。特に（　　　　　　）の業績は日経平均株価に大きく影響する。

２つ目に日本でのあらゆる出来事も株価に影響する。経済成長率、日銀の金利政策、インフレ率、選挙や政治の動向、天候、災害、その他多くの社会的出来事など、数多くの要因が株価に影響する。

・日々の日経平均株価をチェックする上で、（　　　　　　　）に注目するとよい。令和６年９月１２日の株価は36,833円27銭で前日比1,213円50銭高となっている。株価の前日比が２％以上、上昇したり下落したりする場合には、その前日や当日に大きなニュースがあったりするので、株価とニュースを日常的にチェックして経済の流れを把握する。

・経済に強いビジネスパーソンとなるために以下のことを実践しよう。

1. 日経平均株価を毎日チェックし、世の中の出来事と日経平均株価との関係について考えるようにしよう。
2. 新聞の株価欄や経済欄に前日の日経平均株価とその変動要因が書いてあるので、そこを読むようにしよう。

３　株式に関する学習③　～個別銘柄の株価の見方と時価総額～

　・株式市場で取引される特定の企業の株式のことを（　　　　　　　）という。銘柄名は上場している企業個々の企業名からつけられた名前のことである。例えばトヨタ自動車、イオン、衣料品のユニクロやGUの経営を行っている（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）など、企業名が銘柄名になっており、それぞれの銘柄に対して株価が形成されている。

　・企業規模は株価を見るのではなく、（　　　　　　　　　　　）という指標を用いる。株価が高いからといって企業規模が大きいわけではない。

時価総額　=　（　　　　　）　×　（　　　　　　　　　　　　　　　）で計算される。

　・世界の企業の時価総額と日本の企業の時価総額を比較する。まずはアメリカの巨大企業を紹介する。GAFAと呼ばれるアメリカの巨大企業は（　　　　　　　　　　　）、（　　　　　　　　　　）、

（　　　　　　　　　　　　　（現在の社名は　　　　　　））、（　　　　　　　　　　　）の４社の頭文字をとったものである。次は中国の巨大企業を紹介する。BATと呼ばれる中国の巨大企業は（　　　　　　　　　　）（　　　　　　　　　　）（　　　　　　　　　　　）の３社の頭文字をとったものである。

　・世界の企業の時価総額と日本の企業の令和６年９月１２日現在の時価総額を比較する。まず、GAFAそれぞれの企業の時価総額は、Google約213兆円、Apple約398兆円、Facebook（現在の社名はMeta）約114兆円、Amazon約200兆円となっている。次はＢＡＴそれぞれの時価総額は、バイドゥ約４2兆円、アリババ約290兆円、テンセント約62兆円となっている。最後に日本企業の時価総額は、第１位のトヨタ自動車が約４０兆円、第２位の三菱UFJフィナンシャル・グループが約１８兆円、第３位のソニーグループが約１６兆円である。アメリカ、中国の企業と比較すると、日本では時価総額がずば抜けて大きいトヨタ自動車でさえ、約40兆円しかなく、いかに日本企業の時価総額が小さいかがわかる。

　・個別銘柄の株価の変動要因①　個別の企業に関する要因

　 １つ目に個別の企業に関する要因が挙げられる。まず最重要なのが（　　　　　　　　）である。次に（　　　　　　）や（　　　　　　　　　　　　　　　）などの情報について。世の中を変えるような新しい商品が発表されると、その商品が売れて企業の業績がよくなるという思惑から株価は上昇する。次に、企業が利益を上げれば、株主に支払われる（　　　　　　　）が増えるので、株価は上昇する傾向にある。企業自身が自社の株式を買う（　　　　　　　　　　）が行われると、１株あたりの価値が上がるので株価は上昇する傾向にある。

　・個別銘柄の株価の変動要因②　日本国内での動向　世界経済の動向

　 個別銘柄の株価も日経平均株価と同様で、日本国内での動向が株価に影響する。日本の経済成長率、日銀の金利政策、インフレ率、選挙や政治の動向、天候、災害、その他多くの社会的出来事など多くの要因が株価に影響する。また、世界経済とも関係する。特に(　　　　　　)については個々の企業業績に大きな影響を与える。

４　外国為替（円高・円安）と日本経済

　・（　　　　　　　　　　）とは、ドル・円などの異なる通貨を交換することをいう。令和６年９月１２日現在の為替相場は＄１＝1４２円６０銭であり、これはアメリカの１ドルは日本円で１４２円６０銭の価値があるという意味である。この為替相場はあらゆる要因で絶えず変化をしている。

　・外国為替の２つの制度について。各国政府間で為替レートを固定・維持する制度を（　　　　　　　　　　）という。日本は戦後から１９７３年頃まで（　　　　　　　　　　）だった。固定相場制の時代は１＄＝360円であり、これは固定されていた。

　・１９７３年２月より、（　　　　　　　　　　　）に移行した。（　　　　　　　　　　　）とは、為替レートを外国為替市場における外貨の需要と供給の関係に任せて自由に決める制度のことである。変動相場制の場合アメリカの１ドルの価値と日本円の価値があらゆる要因から変動することになる。

　・為替レートの変動について、例えば、1ドルが100円から80円に変わる場合、これは円の価値が上がる（　　　　　）と呼ばれる。逆に、1ドルが100円から120円に変わる場合、これは円の価値が下がる（　　　　　）と呼ばれる。

　・日本は輸出関連企業が多いため、（　　　　　　）になれば企業の利益が増え、企業業績が上がるため、株価が上昇する傾向にある。

ＰＢＬ教材：株式と経済の関連性について理解しよう　課題「日経平均株価推移の記録を取ろう」

　＜覚えてほしい用語＞

　１　日経平均株価

|  |
| --- |
| 東京証券取引所プライム市場に上場する約1,600社のうちの代表的な225社の株価の平均。別名「日経225」とも呼ぶ。日本の株式市場の重要な指標。 |

　２　ニューヨークダウ

|  |
| --- |
| ダウ・ジョーンズ社が発表する、工業株30銘柄を対象とした平均株価指数。ダウ平均、ダウ工業株30種平均とも呼ばれる。米国の各セクタ－を代表する優良銘柄30社によって構成され、アメリカを代表するニューヨーク株式市場の重要な指標。 |

日経平均株価は日本経済の景気の良否を表しているとも言われている。

＜日経平均株価の変動要因＞

　１　世界経済との関わり

　　　世界的に経済に影響を与える出来事（感染症、戦争、為替、リーマン・ショックを代表とする金融崩壊、諸外国の景気、大統領選挙、金利、雇用、インフレ・デフレ、日々のニューヨークダウやナスダック指数の変動など）数多くの出来事が日経平均株価にも影響する。

　２　日本国内での動向

　　　日本企業の業績（特に大企業の業績は日経平均に影響する）

　　　日本での出来事（経済成長率、日銀の金利政策、インフレ率、選挙や政治の動向、天候、災害、その他多くの社会的出来事など）

グラフ

中程度の精度で自動的に生成された説明＜日経平均株価の変動履歴＞

（資料）社会実情データ図録（<https://honkawa2.sakura.ne.jp/5075.html>）より掲載

日経平均株価の推移をとり、変動の要因となった出来事を調べてみよう。

Yahooファイナンスや新聞の株価欄で株価と要因となった出来事を調べ、記入してください。毎日調べる必要はありません。大きく変動した時に調べるといいと思います。新聞やインターネットで日経平均株価と上昇や下落の原因が記事で書いてありますのでそれを参考にしてください。先生から指示のあった回数分調べてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 月　日 | 日経平均株価  （前日比は＋-を付ける） | 要因となった出来事 |
| 例 4/ 1 | 18,065円41銭（－851円60銭） | 新型コロナウィルス感染症拡大による経済活動の停滞が長期化するとの懸念から、大きく売られた。 |
| 例  8 /5 | 31,458円42銭（－4,451円28銭） | 日銀が政策金利を0.25%引き上げたことに加え、米雇用統計による米国経済の先行き不安感から投資心理が大きく崩れた。 |
| / | 円　　銭（　　　円　　銭） |  |
| / | 円　　銭（　　　円　　銭） |  |
| / | 円　　銭（　　　円　　銭） |  |
| / | 円　　銭（　　　円　　銭） |  |
| / | 円　　銭（　　　円　　銭） |  |
| / | 円　　銭（　　　円　　銭） |  |
| / | 円　　銭（　　　円　　銭） |  |
| / | 円　　銭（　　　円　　銭） |  |
| / | 円　　銭（　　　円　　銭） |  |
| / | 円　　銭（　　　円　　銭） |  |
| / | 円　　銭（　　　円　　銭） |  |
| / | 円　　銭（　　　円　　銭） |  |
| / | 円　　銭（　　　円　　銭） |  |

※提出期限　　　月　　　日（　　　）

年　　　組　　　　番　　　　氏名

【グループワーク用】　　　　　　　　　　　　　「日経平均株価推移の記録を取ろう」

　※以下の４つの設問に対して、まずはグループで意見を出し合いましょう。その後、クラス全体で意見共有をしましょう。

１　「日経平均株価推移の記録を取ろう」プリントでの記録で株価が大きく上昇（前日比１％以上）した日の「要因となった出来事」についてまとめてみよう。

２　「日経平均株価推移の記録を取ろう」プリントでの記録で株価が大きく下落（前日比１％以上）した日の「要因となった出来事」についてまとめてみよう。

３　上記１・２のそれぞれの上昇・下落の要因として重要であると思われることを共有しよう。

４　私たち、商業高校生が株式を学ぶ意義は何だと思いますか。どのようなことでもいいので、感じたことを共有しよう。

５　「株式と経済の関連性について理解しよう」の学習において、あなた自身が学んだこと、新たな発見、他の友人の意見で気付いたこと、今回の学習を今後にどのように生かしたいか記入してください。

☆あなた自身が学んだこと、新たな発見について

☆友人の意見で気付いたこと

☆今回の学習を今後にどのように生かしていきたいか

　　　年　　　　組　　　　　番　　　氏名

これより教師用参考資料

株式学習プリント（解答）

講義を受け、株式に関する理解を深めましょう。このプリントの（　　）を埋めながら学習してください。

１　株式に関する学習①　～株式を学ぶ意義と日経平均株価～

・株価の動きを知ることは、企業の業績や世界経済、社会情勢を理解するための重要な手段である。例えば、ある企業の株価が急上昇した場合、その企業の新製品の発表や、業績が好調であることが考えられる。また、株価が全体的に下落している場合、経済不況や政治的不安定が影響している可能性がある。さらに、特定の業界の株価動向を追うことで、その業界全体の健康状態や将来の見通しを把握することができる。例えば、テクノロジー企業の株価が上昇している場合、技術革新が進んでいることや消費者需要が高まっていることが示唆される。

このように、株価の動きを分析することで、企業や経済全体の動向をより深く理解することができる。

　・日経平均株価とは、（上場企業）のうち東京証券取引所（プライム）市場に上場している企業のうちの代表的な（２２５）社の平均の株価である。（日経２２５）とも呼ばれる。

　・株式会社は株式を発行しその株式と引き換えに（出資者）から資金を調達する。その株式を（証券取引所）を通じて自由に売買ができるようになることを（上場）という。上場するためには厳しい審査があり、その審査を通過した企業のことを（上場企業）という。

　・令和６年９月現在、日本の株式会社は約（２５０）万社あるが、そのわずか０．２％に当たる約4,000社（厳密に言えば令和６年９月時点で3,953社）が上場企業となっている。上場企業は厳しい（審査）を超えた優良企業と言える。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 証券取引所 | 市場名 | 企業数 | 備考 |
| 東京証券取引所 | （プライム） | １６４１社 | うち（２２５）社が日経平均組み入れ銘柄 |
| 東京証券取引所 | （スタンダード） | １602社 |  |
| 東京証券取引所 | （グロース） | 591社 | （新興企業）向け市場 |

　　※日本の代表的な証券取引所である東京証券取引所の各市場名。企業数は令和６年９月１１日現在の企業数。

　・２０２２年４月以降は東証１部などの名称が変更となった（以下参照）。

各企業の上場については見直しが行われるので、今まで東証１部に上場していたからといってプライム市場に入れるとは限らない。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 証券取引所 | 2022,３月までの市場名 | ２０２２年４月より | 特　徴 |
| 東京証券取引所 | 第１部 | （プライム）市場 | 多くの機関投資家の投資対象になりうる規模の時価総額の企業。 |
| 東京証券取引所 | 第２部 | （スタンダード）市場 | 公開された市場における投資対象として一定の時価総額をもつ企業。 |
| 東京証券取引所 | JASDAQ | （グロース）市場 | 高い成長可能性を実現するための事業計画等の適切な開示が行われ、一定の市場評価が得られる企業。 |
| 東京証券取引所 | マザーズ |

　・令和６年９月１２日現在の日経平均株価36,833円27銭。

令和　　年　　　月　　　日現在の日経平均株価(　　　　　　　　　円　　　銭)←調べてみよう！！

　・株式会社は株式を発行して資金を調達する。株式を持っている人を(株主)と呼ぶ。そして、株式会社の最高意思決定機関は（株主総会）である。（株主総会）では、会社の重要な方針や役員の選任などが決定される。

　・株式の売買は、平日の（９時）～（１１時半）、休憩をはさんで、（１２時半）～（１５時半）の時間帯で売買できる。午前の取引時間を（前場（ぜんば））、午後の取引時間を（後場（ごば））という。

２　株式に関する学習②　～日経平均株価の変動要因と見方～

　・日経平均株価は日本の最も代表的な（株価指数）のひとつで、上昇が続けば景気が（よく）なってきたと考えられ、逆に下落が続けば景気が（悪く）なってきたと考えられる。しかし、最近はそうとも言えなくなってきている。

（資料）社会実情データ図録（<https://honkawa2.sakura.ne.jp/5075.html>）より掲載

グラフ

中程度の精度で自動的に生成された説明

・株価の変動要因①　世界経済との関わり

株価の変動要因にはさまざまな要因がある。記憶に新しい新型コロナウィルスなどの感染症、戦争、為替、リーマン・ショックを代表とする金融崩壊、諸外国の景気、大統領選挙、金利、雇用、インフレ・デフレ、日々のニューヨークダウ、ナスダック指数の変動など多くの要因が日本の株価にも影響する。その中でも（為替）は日本企業の業績や株価に大きく影響する。（為替）とは、異なる通貨間の交換レートであり、（円高）や（円安）によって日本円の価値が他の通貨に対して変動することである。

・株価の変動要因②　日本国内での動向

１つ目の株価の変動要因として、まずは（企業業績）が挙げられる。（黒字）企業が多く、企業が利益を多く上げていけば個別の企業の株価も（上）がり、日経平均株価も（上昇）する。（赤字）企業が多くなれば当然、日経平均も（下落）する。特に（大企業）の業績は日経平均株価に大きく影響する。

２つ目に日本でのあらゆる出来事も株価に影響する。経済成長率、日銀の金利政策、インフレ率、選挙や政治の動向、天候、災害、その他多くの社会的出来事など、数多くの要因が株価に影響する。

・日々の日経平均株価をチェックする上で、（前日比）に注目するとよい。令和６年９月１２日の株価は36,833円27銭で前日比1,213円50銭高となっている。株価の前日比が２％以上、上昇したり下落したりする場合には、その前日や当日に大きなニュースがあったりするので、株価とニュースを日常的にチェックして経済の流れを把握する。

・経済に強いビジネスパーソンとなるために以下のことを実践しよう。

①日経平均株価を毎日チェックし、世の中の出来事と日経平均株価との関係について考えるように

しよう。

②新聞の株価欄や経済欄に前日の日経平均株価とその変動要因が書いてあるので、そこを読むようにしよう。

３　株式に関する学習③　～個別銘柄の株価の見方と時価総額～

　・株式市場で取引される特定の企業の株式のことを（個別銘柄）という。銘柄名は上場している企業個々の企業名からつけられた名前のことである。例えばトヨタ自動車、イオン、衣料品のユニクロやGUの経営を行っている（ファーストリテイリング）など、企業名が銘柄名になっており、それぞれの銘柄に対して株価が形成されている。

　・企業規模は株価を見るのではなく、（時価総額）という指標を用いる。株価が高いからといって企業規模が大きいわけではない。

時価総額　=　（株価）　×　（発行済株式数）で計算される。

　・世界の企業の時価総額と日本の企業の時価総額を比較する。まずはアメリカの巨大企業を紹介する。GAFAと呼ばれるアメリカの巨大企業は（Google）、（Apple）、（Facebook（現在の社名はMeta））、（Amazon）の４社の頭文字をとったものである。次の中国の巨大企業を紹介する。BATと呼ばれる中国の巨大企業は（バイドゥ）（アリババ）（テンセント）の３社の頭文字をとったものである。

　・世界の企業の時価総額と日本の企業の令和６年９月１２日現在の時価総額を比較する。まず、GAFAそれぞれの企業の時価総額は、Google約213兆円、Apple約398兆円、Facebook（現在の社名はMeta）約114兆円、Amazon約200兆円となっている。次はＢＡＴそれぞれの時価総額は、バイドゥ約４2兆円、アリババ約290兆円、テンセント約62兆円となっている。最後に日本企業の時価総額は、第１位のトヨタ自動車が約４０兆円、第２位の三菱UFJフィナンシャル・グループが約１８兆円、第３位のソニーグループが約１６兆円である。アメリカ、中国の企業と比較すると、日本では時価総額がずば抜けて大きいトヨタ自動車でさえ、約40兆円しかなく、いかに日本企業の時価総額が小さいかがわかる。

　・個別銘柄の株価の変動要因①　個別の企業に関する要因

　 １つ目に個別の企業に関する要因が挙げられる。まず最重要なのが（企業業績）である。次に（新商品）や（新サービス）などの情報について。世の中を変えるような新しい商品が発表されると、その商品が売れて企業の業績がよくなるという思惑から株価は上昇する。次に、企業が利益を上げれば、株主に支払われる（配当金）が増えるので、株価は上昇する傾向にある。企業自身が自社の株式を買う（自社株買い）が行われると、１株あたりの価値が上がるので株価は上昇する傾向にある。

　・個別銘柄の株価の変動要因②　日本国内での動向　世界経済の動向

　 個別銘柄の株価も日経平均株価と同様で、日本国内での動向が株価に影響する。日本の経済成長率、日銀の金利政策、インフレ率、選挙や政治の動向、天候、災害、その他多くの社会的出来事など多くの要因が株価に影響する。また、世界経済とも関係する。特に(為替)については個々の企業業績に大きな影響を与える。

４　外国為替（円高・円安）と日本経済

　・（外国為替）とは、ドル・円などの異なる通貨を交換することをいう。令和６年９月１２日現在の為替相場は＄１＝1４２円６０銭であり、これはアメリカの１ドルは日本円で１４２円６０銭の価値があるという意味である。この為替相場はあらゆる要因で絶えず変化をしている。

　・外国為替の２つの制度について。各国政府間で為替レートを固定・維持する制度を（固定相場制）という。日本は戦後から１９７３年頃まで（固定相場制）だった。固定相場制の時代は１＄＝360円であり、これは固定されていた。

　・１９７３年２月より、（変動相場制）に移行した。（変動相場制）とは、為替レートを外国為替市場における外貨の需要と供給の関係に任せて自由に決める制度のことである。変動相場制の場合アメリカの１ドルの価値と日本円の価値があらゆる要因から変動することになる。

　・為替レートの変動について、例えば、1ドルが100円から80円に変わる場合、これは円の価値が上がる（円高）と呼ばれる。逆に、1ドルが100円から120円に変わる場合、これは円の価値が下がる（円安）と呼ばれる。

　・日本は輸出関連企業が多いため、（円安）になれば企業の利益が増え、企業業績が上がるため、株価が上昇する傾向にある。

ＰＢＬ教材：株式と経済の関連性について理解しよう　課題「日経平均株価推移の記録を取ろう」

　＜覚えてほしい用語＞

　１　日経平均株価

|  |
| --- |
| 東京証券取引所プライム市場に上場する約1,600社のうちの代表的な225社の株価の平均。別名「日経225」とも呼ぶ。日本の株式市場の重要な指標。 |

　２　ニューヨークダウ

|  |
| --- |
| ダウ・ジョーンズ社が発表する、工業株30銘柄を対象とした平均株価指数。ダウ平均、ダウ工業株30種平均とも呼ばれる。米国の各セクタ－を代表する優良銘柄30社によって構成され、アメリカを代表するニューヨーク株式市場の重要な指標。 |

日経平均株価は日本経済の景気の良否を表している。

＜日経平均株価の変動要因＞

　１　世界経済との関わり

　　　世界的に経済に影響を与える出来事（感染症、戦争、為替、リーマン・ショックを代表とする金融崩壊、諸外国の景気、大統領選挙、金利、雇用、インフレ・デフレ、日々のニューヨークダウ、ナスダック指数の変動など）数多くの出来事が日経平均株価にも影響する。

　２　日本国内での動向

　　　日本企業の業績（特に大企業の業績は日経平均に影響する）

　　　日本での出来事（経済成長率、日銀の金利政策、インフレ率、選挙や政治の動向、天候、災害、その他多くの社会的出来事など）

＜日経平均株価の変動履歴＞

グラフ

中程度の精度で自動的に生成された説明

日経平均株価の推移をとり、変動の要因となった出来事を調べてみよう。

（資料）社会実情データ図録（<https://honkawa2.sakura.ne.jp/5075.html>）より掲載

Yahooファイナンスや新聞の株価欄で株価と要因となった出来事を調べ、記入してください。毎日調べる必要はありません。大きく変動した時に調べるといいと思います。新聞やインターネットで日経平均株価と上昇や下落の原因が記事で書いてありますのでそれを参考にしてください。先生から指示のあった回数分調べてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 月　日 | 日経平均株価  （前日比は＋―を付ける） | 要因となった出来事 |
| 例  4/ 1 | 18,065円41銭 　（－851円60銭） | 新型コロナウィルス感染症拡大による経済活動の停滞が長期化するとの懸念から、大きく売られた。 |
| 例  8 / 5 | 31,458円42銭（－4,451円28銭） | 日銀が政策金利を0.25%引き上げたことに加え、米雇用統計による米国経済の先行き不安感から投資心理が大きく崩れた。 |
| / | 円　　銭（　　　円　　銭） |  |
| / | 円　　銭（　　　円　　銭） |  |
| / | 円　　銭（　　　円　　銭） |  |
| / | 円　　銭（　　　円　　銭） |  |
| / | 円　　銭（　　　円　　銭） |  |
| / | 円　　銭（　　　円　　銭） |  |
| / | 円　　銭（　　　円　　銭） |  |
| / | 円　　銭（　　　円　　銭） |  |
| / | 円　　銭（　　　円　　銭） |  |
| / | 円　　銭（　　　円　　銭） |  |
| / | 円　　銭（　　　円　　銭） |  |
| / | 円　　銭（　　　円　　銭） |  |

※提出期限　　　月　　　日（　　　）

年　　　組　　　　番　　　　氏名

【グループワーク用】　　　　　　　　　　　　　「日経平均株価推移の記録を取ろう」

　※以下の４つのそれぞれの設問に対して、まずはグループで意見を出し合いましょう。その後、クラス全体で意見共有をしましょう。

１「日経平均株価推移の記録を取ろう」プリントでの記録で株価が大きく上昇（前日比１％以上）した日の「要因となった出来事」についてまとめてみよう。

　・大企業の決算が良かった　・消費者心理の改善　・円安　・金利の下落

・前日のアメリカのさまざまな指数（消費者物価指数（ＣＰＩ）、米雇用統計、小売売上高、製造業ＰＭＩなど）

・アメリカ市場（ニューヨークダウやナスダック）の上昇、その他日本に影響のある国々の株価の上昇

・国際情勢の安定（例：ウクライナロシア戦争の解決が見えてきた）

・アメリカの政策金利の引き下げ　・日銀の金融緩和政策（政策金利の引き下げ）

・日本のさまざまな指数（ＧＤＰ、貿易収支、日銀短観、消費者物価指数、鉱工業生産指数など）

　 ・日本や世界のあらゆるニュース、出来事

　※特に為替の変動と株価の変動の関係性については理解させたい部分になりますので、必ず扱ってください。

２「日経平均株価推移の記録を取ろう」プリントでの記録で株価が大きく下落（前日比１％以上）した日の「要因となった出来事」についてまとめてみよう。

・大企業の決算が悪かった　・消費者心理の悪化　・円高　・金利の上昇

・前日のアメリカのさまざまな指数（消費者物価指数（ＣＰＩ）、米雇用統計、小売売上高、製造業ＰＭＩなど）

・アメリカ市場（ニューヨークダウやナスダック）の下落、その他日本に影響のある国々の株価の下落

・国際情勢の悪化　・アメリカの政策金利の引き上げ　・日銀の金融緩和政策（政策金利の引き上げ）

・日本のさまざまな指数（ＧＤＰ、貿易収支、日銀短観、消費者物価指数、鉱工業生産指数など）

　・日本や世界のあらゆるニュース、出来事

　※特に為替の変動と株価の変動の関係性については理解させたい部分になりますので、必ず扱ってください。

３　上記１・２のそれぞれの上昇・下落の要因として重要であると思われることを共有しよう。

　・大企業の業績　・消費者心理　・為替相場　・金利　・諸外国の景気や株価（特にアメリカ）

　 ・国際情勢　・災害　・雇用　・金融政策　・さまざまな指数

４　私たち、商業高校生が株式を学ぶ意義は何だと思いますか。どのようなことでもいいので、感じたことを共有しよう。

・実践的なビジネススキルの習得

株式を通じて、企業の財務状況や市場の動向を分析するスキルが身に付く。

将来のビジネスシーンで役立つ実践的な知識を得ることができる。

・経済・金融リテラシーの向上

株式を学ぶことで、経済や金融の基本的な仕組みを理解することができる。これにより、社会全体の動きや経済の仕組みに対する理解が深まる。

・リスク管理能力の向上

株式はリスクが伴うが、そのリスクを管理する方法を学ぶことで、リスクに対する耐性や対応力が養われる。これはビジネスだけでなく、日常生活にも役立つスキルである。

・起業家精神の育成

株式投資を通じて、企業の成長や経営戦略に興味をもつことで、将来的に起業を考えるきっかけになる。

・幅広い視野の形成

経済に関するより広い視野を持ち、将来のキャリアに役立つスキルを身に付けることができる。

５　「株式と経済の関連性について理解しよう」の学習において、あなた自身が学んだこと、新たな発見、他の友人の意見で気付いたこと、今回の学習を今後にどのように生かしたいか記入してください。

☆あなた自身が学んだこと、新たな発見について

☆友人の意見で気付いたこと

☆今回の学習を今後にどのように生かしたいか

　　　年　　　　組　　　　　番　　　氏名